

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 エコクリーンセンター長寿命化等検討委員会
開 催 日 時	平成30年7月6日(金) 13時30分～15時45分
開 催 場 所	エコクリーンセンター 2階研修室
協 議 事 項	(1)ライフサイクルコスト(LCC)の比較について (2)報告事項財政計画について (3)各検討方針案について (4)その他
出 席 委 員	山口大学大学院創成科学研究科教授 樋口 隆哉委員長 島根県立大学総合政策学部准教授 豊田 知世 島根職業能力開発短期大学校校長 紀 高志職務代理者 浜田市 市民生活部長 斗光 秀基 江津市 民生部門参事 村上 郁夫 浜田地区広域行政組合事務局長 宇津 光 計6名
事務局の出席者	浜田地区広域行政組合 総務課長 渡邊 哲也 総務課総務係長 三浦 幸司 総務課業務係長 佐々木 茂伸 株式会社日本環境工学設計事務所 技術部部长 瀧島 満 株式会社日本環境工学設計事務所 稲村 ゆかり
傍 聴 者	浜田市 環境課長 野田 貢治

発言者	内容
次第1 開会	
事務局	(事務局挨拶)
次第2 あいさつ	
委員長	(挨拶)
次第3 報告事項 (1) ライフサイクルコスト (LCC) の比較について (資料)	
事務局	(資料の説明)
委員	延命化工事費を算出するうえで、さまざまな形式の炉から算出しているが、エコクリーンセンターは直接ガス化溶融炉なので、違った形式のものから出すのはどうなのか。
事務局	エコクリーンセンターの規模は98tであり、同じ形式のものは、規模が160tと大きく、その分、t当たりの単価が下がる傾向がある。包括的にみるため、さまざまな数字を拾った。
委員	直接溶融炉で算出するのは難しいということか。
事務局	その通りである。E社の処理単価が流動床のみであるので、こちらが参考にはなる。
委員	形式はあまり関係ないということか。
事務局	関係が全くないとは言えない。しかし、大きく変わることもないと判断している。
委員	延命化事業の点検補修費、基幹的設備改良事業費の金額について教えてほしい。
事務局	基幹的設備改良工事の範囲外の点検補修費、基幹的設備改良工事範囲の点検補修費を平成48年度までそれぞれいくらかかるか試算したものである。建設費に対する点検補修費の割合は、点検補修費推定より算出されたものを使用している。項目に合わせて15年間積み上げの計算をしていくと、工事範囲外の点検補修費は2,574,901千円、工事範囲の点検補修費は711,078千円である。
委員	点検補修費算定用の建設費が平成37年度以降一定なのはなぜか。
事務局	建設費から基幹的設備改良事業費を減じたものを平成34年度の点検補修費算定用の建設費とし、翌年以降は前年度点検補修費算定用の建設費から基幹的設備改良事業費を減じて算出している。よって、平成37年度以降は基幹的設備改良事業費がかからないので3,297,212千円となる。
委員	施設更新や経費算定に用地購入費用は入っているのか。
事務局	入っていません。
委員	建設工事のみが比較対象になっており、環境調査や各種許認可、発注仕様書にかかる経費は入ってないということか。
事務局	入っていません。発注仕様書や環境影響調査等は計画支援として交付金が100%出る。

次第4 報告事項(2) 財政計画について(1)	
事務局	(資料の説明)
委員	他の市町村も循環型社会の交付金等を受け取って実施しているのか。
事務局	その通りである。できるだけ財政的に有利な方向にもっていくように努めている。
次第5 報告事項(2) 財政計画について(2)	
事務局	(資料の説明)
委員	JFEの資料で交付金を活用した場合とそうでない場合で、工事期間に差があるのはなぜか。
事務局	確認を取って報告させていただく。
委員	(了承)
委員	メーカーが出した金額と、比較で出されている金額が倍ほど違う。現実性がないのでは。
事務局	現在の段階の見積りだと、メーカーはかなり安全的な金額を提示してくる。
事務局	予算に応じた見積りといっても、その予算内でどこまでの工事ができるかによって、今後の維持補修費に影響がでるということになるのでは。
事務局	金額が下がったとしても、維持補修費等に大きな差は出ないと考えている。
事務局	メーカーとしては、金額を下げることはできても上げることはできない。
委員	前回の検討委員会の時の資料、処理方式別受注実績では、平成15～平成18年度のシャフト式ガス化溶融炉実績は12件となっている。エコクリーンセンターと同時期のものであるため、この中で基幹改良実績のあるものがあるのではないか。そういった資料があると、現実的な数字があると比較しやすくなるのではないか。
事務局	この処理方式は、JFEとS社が行っている。JFEは今回添付した資料にあるとおり1件である。残りはS社だが、こちらはできる限り資料を入手したい。組合としても、S社の情報が得られないか確認を取る。又、データは次回の委員会までに集められるようにする。
次第6 各検討方針案について	
事務局	報告書では、一つの案を示させてもらった。この結果の可否をお願いいたします。情報の不足などがあれば審議をお願いする。
委員	先ほどの確認したいデータがそろったうえで判断したい。
委員	新施設の受注実績表がガス化溶融炉のみである。他の処理方式も確認したい。
事務局	エコクリーンセンター建設時は、溶融施設がなければ交付金対象にならなかった。しかし、現在はCO ₂ 削減やエネルギー回収等が交付金対象であり、灰溶融の利用を止めるなどの対応をしているところもある。新施設の平成28年度の実績は1t当たり141,403千円(50～99t)、90,673千円(100t～)、平成29年度は80,315千円(100t～)である。
委員	ストーカー炉もシャフト炉もそんなに金額は変わらないのか。
事務局	平成29年度は16か所あるうち、2か所がガス化溶融炉、それ以外がストーカ

	一炉である。ほとんどがストーカー炉のため、ほぼストーカー炉の金額とみて差異はない。金額を公表しているものが少ない。
委員	その当たりの詳しいデータがあれば次回お願いしたい。
事務局	できる限り対処する。
次第7 その他	
事務局	次回の開催について、9月の中旬ごろを考えている。
委員	データがそろえば、早い段階で行いたい。
事務局	S社のデータ及び平成29年度の実績が出来次第対応できる。
事務局	後ほど調整させていただく。